

【ご参考資料】

2016年8月4日

野村アセットマネジメント株式会社

「野村日本債券インデックスファンド」 2016年初来の運用経過と今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村日本債券インデックスファンド」(以下、ファンド)の2016年初来の運用経過と今後の見通しについて、ご説明いたします。

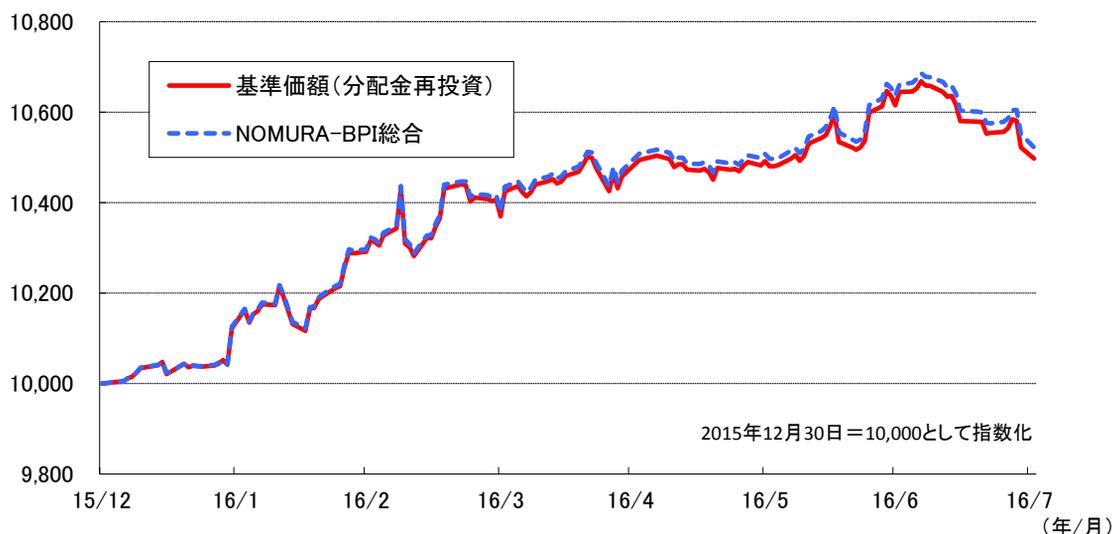
2016年初来の運用経過

ファンドの基準価額は、年初以降、概ね堅調に推移し、基準価額(分配金再投資)の騰落率は、年初から2016年7月29日の期間で+5.2%となりました。

年初から6月にかけては、世界的な株価下落に伴い世界経済の先行きに不透明感が高まったことや、日銀による国債買い入れの平均残存年限長期化やマイナス金利政策の導入などを受け、国内債券利回りが低下(価格は上昇)したため、基準価額は上昇基調で推移しました。その後、6月23日に実施された英国の欧州連合(EU)残留・離脱を問う国民投票では、離脱派が勝ったことにより、世界的にリスク回避の動きが広がり、安全資産といわれる日本債券に資金が流入したことから、基準価額は上昇しました。7月28、29日に開催された日銀の金融政策決定会合では、追加緩和が金利低下幅の押し下げにつながらないとの見方が広がったことから、国内債券利回りが上昇(価格は下落)し、基準価額は7月単月では下落となりました。

<年初来の基準価額の推移>

期間：2015年12月30日～2016年8月1日、日次



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

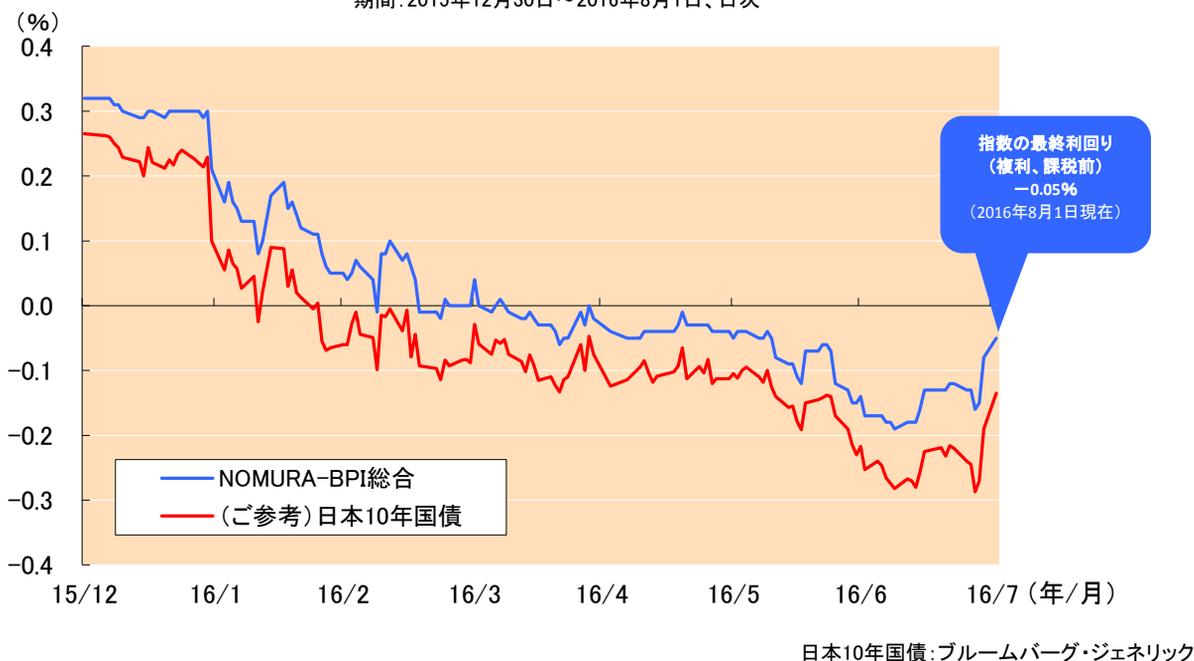
7月の日銀金融政策決定会合後の市況と今後の見通し

7月28、29日に行われた金融政策決定会合で、日銀は上場投資信託(ETF)の購入ペースを年3.3兆円から6兆円に引き上げることを決定しました。加えて企業・金融機関の外貨資金調達環境安定のための措置を発表しました。一方、国債の購入ペースは年間80兆円、不動産投資投信証券(J-REIT)の購入ペースは年間900億円のままで据え置かれ、金融機関が持つ日銀当座預金の政策金利部分の金利もマイナス0.1%で据え置かれました。これを受け、国内金利が低下する余地が限られるとの見方が広がったことから、国債利回り(10年)は、決定内容の発表前(7月28日時点)の-0.28%から、発表後(7月29日時点)の-0.19%に上昇しました。なお、8月1日現在では-0.14%になっております。

今後の国内金利の動向については、日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和政策」を継続する中、低下圧力が続くと思定されます。一方で、金融政策決定会合参加者から現行の国債買入政策に対して持続可能性に懸念を示す声上がるなど、金融緩和政策に対する考えにも変化が見られつつあり、今後の日銀の金融政策動向についてはより一層注視が必要であると思われま。

<債券市場指数(NOMURA-BPI総合)の最終利回り(複利、課税前)の推移>

期間: 2015年12月30日~2016年8月1日、日次



<年限別国債利回り>

| 年限 | 1年 | 3年 | 5年 | 7年 | 10年 | 15年 | 20年 | BPI総合 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2016年1月28日時点 | -0.02% | -0.01% | 0.01% | 0.04% | 0.22% | 0.51% | 0.93% | 0.30% |
| 2016年8月1日時点 | -0.26% | -0.23% | -0.23% | -0.25% | -0.14% | 0.03% | 0.21% | -0.05% |
| 利回りの変化幅 | -0.24% | -0.22% | -0.24% | -0.29% | -0.36% | -0.48% | -0.72% | -0.35% |

年限別国債利回り(カレント)
(出所)ブルームバーグデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

今後の運用方針

当ファンドでは引き続き、国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンドの組入比率を高位に保つことでNOMURA-BPI総合との連動をできる限り高めるように運用を行なってまいります。

国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンドにおいては、債券組入比率を高位に保ち、満期構成、種別構成、デュレーション、流動性などを考慮して選択した債券に分散投資することでNOMURA-BPI総合との連動をできる限り高めるように運用を行なってまいります。

今後とも「野村日本債券インデックスファンド」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上

《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

【ファンドの特色】

- わが国の公社債を実質的な主要投資対象*とし、NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)の動きに連動する投資成果を目指します。

※「実質的な主要投資対象」とは、「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- ・ NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。

■NOMURA-BPI総合の著作権等について■

NOMURA-BPI総合は、野村証券株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しております。また、野村証券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

- ファンドは「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年1月、4月、7月および10月の20日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(平成20年3月3日設定)
- 決算日および収益分配 年4回の決算時(原則、1月、4月、7月および10月の20日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の基準価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年8月現在)

| | |
|----------------|---|
| ◆ご購入時手数料 | ありません。 (購入時手数料は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。) |
| ◆運用管理費用(信託報酬) | ファンドの純資産総額に年0.3996%(税抜年0.37%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 |
| ◆その他の費用・手数料 | 組入保有証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |
| ◆信託財産留保額(ご換金時) | ありません。 |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご注意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

◆お申込みは



三菱東京UFJ銀行

株式会社三菱東京UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は

一般社団法人全国銀行協会または

特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センターを利用します。

全国銀行協会相談室:0570-017109/03-5252-3772

証券・金融商品あっせん相談センター:0120-64-5005

受付時間:月~金曜日/9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。